事例

～多様な主体の参画（女性活躍推進）～
女性役員の参画による地域コミュニティの活性化

水とみどりの活動組織
（みずとみどりのかつどうそしき）

新発田市多面的機能支払制度広域協定運営委員会

新発田市

維持　共同　長寿

平地農業地域

【地区概要】※R５年度時点
- 認定農用地面積
  46ha（田46ha、畑0ha）
- 資源量
  水路13.7km、農道6.8km
- 主な構成員
  自治会、農家組合等
- 交付金
  約2百万円（R５）

組織の取組内容

○　水とみどりの活動組織は、平成24年度から農地・水保全管理支払交付金に取り組み、平成27年度から新発田市多面的機能支払制度広域協定に参画。

○　新発田市多面的機能支払制度広域協定傘下の151活動組織うち、唯一の女性代表組織であり、組織化提起の段階から主体的に活動している。維持、共同に取り組み、特に地域児童が農業に目を向けるきっかけとなるような活動に力を入れている。

私たちが役員となったきっかけや苦労したこと

○H24年以前から取り組みたかったが、組織化にあたり農家組合の同意がとれなかった。土側溝が殆どで水管理がとんでもなく大変で、耕作を辞める方も多く、なんとしなければいけないと思い、委託者の方々に「農地水制度に参加したい、会議で私が発言するので協力してほしい」とお願いした。

○毎年恒例の活動は良いが、初めてやる活動はみんな躊躇した。（当時の自治会長が積極的な方で有り難かった。）

○来てちょうだいと言っても来てくれないことも…

私たちが今、取り組んでいることを紹介します

○地域の農地を維持していくこと。

○地域にある小学校と関わっていくこと。

○コロナ禍で「出来なくなったこと」を少しずつ以前のように、また以前以上に取組みたい。

私たちがこれから地域でやっていきたいこと

○子供達との作業！

○農地等の維持管理をもっと容易に！

○耕作放棄地(遊休農地)の発生防止！

景観形成/定期巡回ゴミ除去の様子

水路の泥上げの様子

啓発・普及活動/学校教育との連携
（燻炭焼の体験）の様子

事例

～多様な主体の参画（女性活躍推進）～
女性役員の参画による地域コミュニティの活性化

むかいなかじょうしげんほぜんかい
向中条資源保全会
新発田市多面的機能支払制度広域協定運営委員会

新発田市

維持 共同 長寿

平地農業地域

【地区概要】※R５年度時点
- 認定農用地面積
  107ha（田105.3ha、畑1.7ha）
- 資源量
  水路35.4km、農道9.2km
- 主な構成員
  自治会、農家組合等、JA女性部
- 交付金
  約6百万円（R５）

組織の取組内容

○　向中条資源保全会は、平成19年度から農地・水保全管理支払交付金に取り組み、平成27年度から新発田市多面的機能支払制度広域協定に参画。

○　取り組み開始当初から女性役員が参画しており、植栽等の景観形成活動に取組、地域コミュニティの活性化につながっている。

私たちが役員となったきっかけや苦労したこと

○組織立ち上げ当初から、既に地域の構成員として活動していたので、当然のこととして参加した。

○平成24年度から会計として今年で13年目になる。次に渡せる人がなかなかいない。

水路の草刈、水路の泥上げ

私たちが今、取り組んでいることを紹介します

○農地維持の活動の他、特に遊休農地での植栽、景観形成活動に力を入れています。

6月　花苗植え（ベゴニア、マリーゴールド）

8月　そば種まき、花壇の草取り

10月　そばの実刈取り

景観形成/
施設等の定期的な巡回点検･清掃

私たちがこれから地域でやっていきたいこと

○現在行っている活動の継続

○農家と農家以外の方との繋ぎ役としての役割を担っていきたい。

景観形成/植栽活動

事例

～多様な主体の参画（女性活躍推進）～
女性役員の参画による地域コミュニティの活性化

はすがたかんきょうほぜんチーム
蓮潟環境保全チーム

聖籠町

維持 共同 長寿

平地農業地域

組織の取組内容

○　蓮潟環境保全チームは、平成１９年度から農地・水保全管理支払交付金に取り組み、平成３０年度から女性役員の参画を進めている。

○　女性役員が参画したことにより、学校教育との連携や農福連携、景観作物の植栽等の新たな取組が始まり、共同活動の参加者が多様化し、地域コミュニティの活性化につながっている。

【地区概要】※Ｒ５年度時点
- 認定農用地面積
  157.2ha（田157.2ha）
- 資源量
  水路49.7km、農道20.0km
- 主な構成員
  農家組合、自治会、老人会
  育成会、社会福祉協議会等
- 交付金
  約14百万円（Ｒ５）

私たちが役員となったきっかけや苦労したこと

○自治会の役員をしている時に代表より声を掛けられた。代表は１人ではなく親しくしていた２人同時に声掛けをしてくれてお互い心強かった。

○チームのメンバーが協力的だし、地域の方々との交流ができるので苦労と感じる事はなく、楽しく活動しています。

小学生と田植えの様子

私たちが今、取り組んでいることを紹介します

○学校教育との連携で小学生と田植え、田んぼの草取り、稲刈りを行っています。

○幼児、老人クラブ、福祉施設の方々とチューリップの球根植え、花の植栽・管理等を行っています。

○数年前に子供たちと桜の苗木を植え、苗木にネームプレートをつけて『私の桜』として管理している。毎年春に花見をしながらクリーン作戦を行っています。

芝桜植栽前の記念撮影

私たちがこれから地域でやっていきたいこと

○育成会の保護者や子供たちにもっと関心を持ってもらい、今行っている活動を充実させ、大勢の方々が参加して頂けるよう頑張りたいと思います。

老人クラブとの花の植栽

事例

～多様な主体の参画（女性活躍推進）～
女性役員の参画による地域コミュニティの活性化

しょうぜちくのうち・しげんほぜんかいこういきかつどうきょうてい
庄瀬地区農地・資源保全会広域活動協定

新潟市

維持　共同　長寿

平地農業地域

組織の取組内容

○　庄瀬地区農地・資源保全会は、平成26年度から多面的機能支払交付金に取り組み、令和元年度から女性役員の参画を進めている。

○　女性役員が参画したことにより、小学校等の新たな取組が始まり、共同活動の参加者が多様化し、地域コミュニティの活性化につながっている。

【地区概要】※R５年度時点
- 認定農用地面積
  ７６ha（田70.4ha、畑5.6ha）
- 資源量
  水路165.0km、農道59.7km
- 主な構成員
  自治会、子供会、農家組合等
- 交付金
  約48百万円（R５）

私たちが役員となったきっかけや苦労したこと

○耕作者の高齢化や離農等により維持管理の難しさ

○地域の子供の数の減少に伴う、子供たちの活動の場が減少し、地域内との結びつきも減ってきていること。

収穫体験の様子

私たちが今、取り組んでいることを紹介します

○しょうぜっ子ファームを立上げ、農地で小学校の子供たちとサツマイモの植え付け、管理、収穫を一緒に体験する。また、農地で育てるラベンダーやプランターでの植栽活動です。

○子供たちの活躍を文化祭でPRをしています。

農道にプランター植栽の様子

私たちがこれから地域でやっていきたいこと

○非農業者、子供達に参加してもらえる活動を増やし、活気ある地域に。そして地域みんなでこの実り豊かな土地、庄瀬を守っていきたい。

文化祭にて活動紹介の様子

事例

～多様な主体の参画（女性活躍推進）～
女性役員の参画による地域コミュニティの活性化

かみかわにしのうち・みず・かんきょうほぜんきょうてい
上川西農地・水・環境保全広域協定

長岡市

維持　共同　長寿

都市的地域

組織の取組内容

○　上川西地区は、平成19年度から農地・水環境保全向上対策の取組みを開始し、多面的機能支払となってからも活動を継続している。

○　女性役員は現在１名で、主に事務会計を担当している。女性の多面活動への参加は、農村環境保全活動の植栽・清掃などで多く見られる。

【地区概要】※Ｒ５年度時点
- 認定農用地面積
  179ha（田177ha、畑2ha）
- 資源量
  水路26.1km、農道8.0km
- 主な構成員
  町内会、農家組合等
- 交付金
  約16百万円（Ｒ５）

私たちが役員となったきっかけや苦労したこと

○　平成20年から事務会計をお願いされ、しかたなく受けたのが始まりです。実はあまり役員という意識はありませんが、地域活動への女性の参加が上川西を元気にしていると感じています。

○　役員という立場ではありませんが、地域に貢献したいという意識はいつも持っています。地域が元気になったり、きれいになったりするのがうれしいので、地域活動にはなるべく参加するようにしています。

生き物調査

私たちが今、取り組んでいることを紹介します

○　各町内会で植栽や農地周りの清掃を実施

○　田植え・稲刈り体験や生き物調査等を開催し、地域住民と交流

稲刈り体験

私たちがこれから地域でやっていきたいこと

○　生き物調査などは、マンネリ化しやすいため、少しずつでも変化を加えながら継続していきたい。

かかし作り体験

事例

～多様な主体の参画（女性活躍推進）～
女性役員の参画による地域コミュニティの活性化

あらまちのうちかんきょうほぜんかい
新町農地環境保全会

十日町市

維持　共同　長寿

平地農業地域

組織の取組内容

○　新町農地環境保全会は、平成19年度から農地・水保全管理支払交付金に取り組み、設立当初から女性役員が参画している。

○ 当時40代の若手を中心に、女性も交えた8人の保全会役員を選出してスタートした。基本的な維持活動は、集落内の各団体に分担してもらい実施している。

例）植栽→ほほえみ会　農道草刈→福寿会　等

【地区概要】※R５年度時点
- 認定農用地面積
  58.4ha（田42.7ha、畑15.7ha）
- 資源量
  水路15.0km、農道4.2km
- 主な構成員
  自治会、農家組合、PTA等
- 交付金
  約４百万円（R５）

私たちが役員となったきっかけや苦労したこと

○ 当時、約70戸の集落が7組に分かれており、各組から1名ずつを選出して役員となった。農業素人の私は会計や書類の整理を担当している。

○ 私は農地の場所、作業内容など農業に関する基本的なことすらわからなかったので、書類関係と現場作業とは完全分業制でやってきた。役員同士で互いに教え合って進めている。

水路の点検（消防団・農区含め）

私たちが今、取り組んでいることを紹介します

○ 地域内の施設の補修、更新を順次進めている。
（農道舗装、水路底板補修　など）

○ 消防団等、若手も交えた地域内施設の巡回・点検
→管理状況を知らない若い世代の教育

○ 集落内の団体へ維持活動の役割分担
→女性や若い世代にも、維持管理に関心を持ってもらえた

農道への植栽　花いっぱい運動

私たちがこれから地域でやっていきたいこと

○ 畦畔の再構築、水路の補修・更新

○ 事業を通して、集落の担い手となる若手の育成

畦畔の再構築